

令和5年度 英語学習実施状況について

金沢市立十一屋小学校

①小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和6年1月実施)

()内は令和4年度 (%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の授業好きだ。	38 (50.0)	38 (31.3)	19 (14.6)	6 (4.2)	0 (0.0)
問2	英語の勉強が大切だ。	70 (70.8)	21 (18.8)	6 (4.2)	4 (6.3)	0 (0.0)
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	58 (58.3)	32 (33.3)	9 (6.3)	0 (2.1)	0 (0.0)
問4	英語の授業の内容が分かる。	57 (58.3)	28 (20.8)	11 (18.8)	4 (2.1)	0 (0.0)
問5	先生や友達に英語で質問することができる。	36 (43.8)	42 (37.5)	19 (16.7)	4 (2.1)	0 (0.0)
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	34 (39.6)	45 (41.7)	17 (18.8)	4 (0.0)	0 (0.0)
問7	アルファベットの大文字が書ける。	75 (75.0)	19 (18.8)	6 (6.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
問8	アルファベットの小文字が書ける。	72 (77.1)	23 (16.7)	6 (6.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	81 (66.7)	17 (25.0)	2 (6.3)	0 (2.1)	0 (0.0)
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	36 (35.4)	43 (37.5)	17 (20.8)	4 (6.3)	0 (0.0)

②指導改善の具体策

前年度と大きな数値の差はない。しかし、「英語で質問する」「英語で答える」の設問に「そう思う」と回答した児童の割合が5ポイント以上下がった。

- ・「相手に伝える」ということを意識した単元の課題設定をし、対教師、児童間のやり取りを充実させる。
- ・既習表現が使えるよう掲示や動画に残したり、中間指導で新出表現を学んだあと何度も相手を変えてやり取りする機会を設けたりして、使う機会を増やす。

③学校関係者評価

- ・英語に触れる経験をもっとすべきである。書いたり、発音を覚えたりすることは大切だと思うが、英語を通して、友達や先生と交流する体験を増やしていくことはとてもいいことだと思う。
- ・英語の授業が好きではない児童が20%近くいる。その児童が少しでも楽しく思える工夫が必要ではないか。「英語を使って楽しかった」と思えるような活動を増やせないか。中学年の体験が大切だと思う。英語が楽しいと感じられる活動を意図的に増やしていくことで、高学年の英語に対する考え方や苦手意識が少なくなるのではないか。